

省スペースリモートI/O変換器 R8 シリーズ

取扱説明書

非絶縁 4 点、コネクタ形スプリング式端子台
直流電流出力カード

形式
R8-YST4N

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・直流電流出力カード1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

● EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および出力信号を遮断して下さい。
- ・本体側面のディップスイッチは、電源が遮断されたメンテナンス時のみ設定可能であり、通電時は操作しないで下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が $-10 \sim +55^{\circ}\text{C}$ を超えるような場所、周囲湿度が $30 \sim 90\% \text{ RH}$ を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

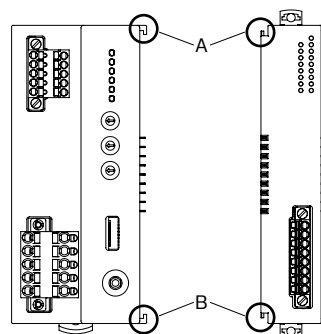
- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

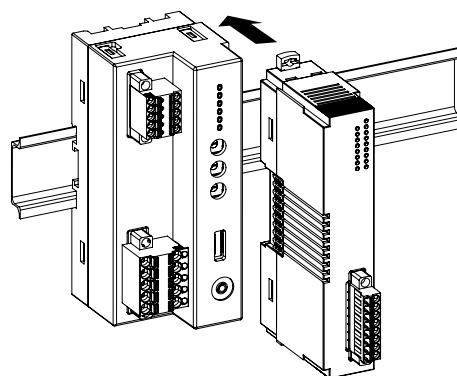
- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

取付方法

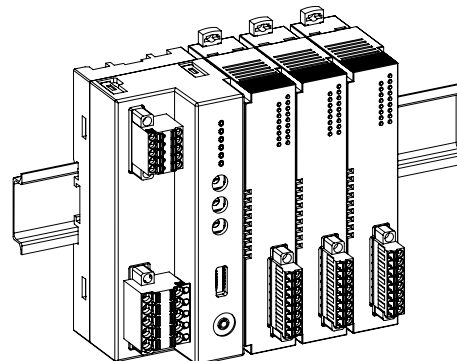
●入出力カード



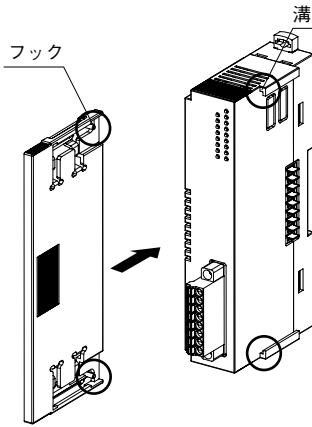
- ・入出力カードのスライダが開いていることを確認し、各カード（ユニット）の凹凸（図のA、B）を合わせるように、DINレールに対して垂直にまっすぐ差込みます。



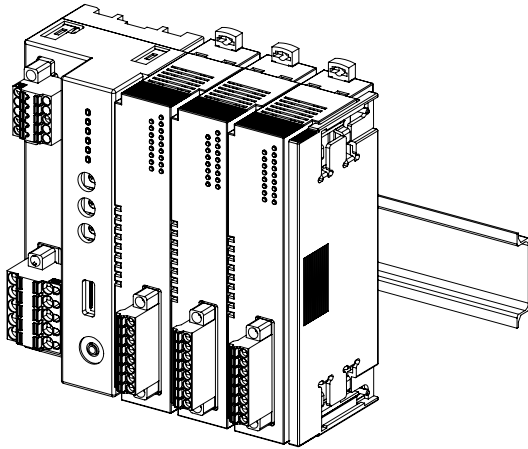
- ・入出力カードを追加する場合も同じようにして下さい。



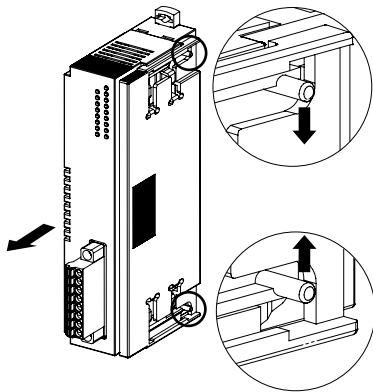
●エンドカバー



- ・接続した一番右端の入出力カードに、エンドカバーを装着します。
- ・カバー側のフックと入出力カード側の溝を合わせ、止まる位置までまっすぐ挿入します。

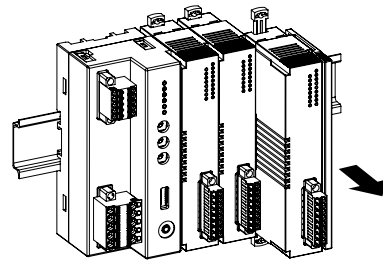
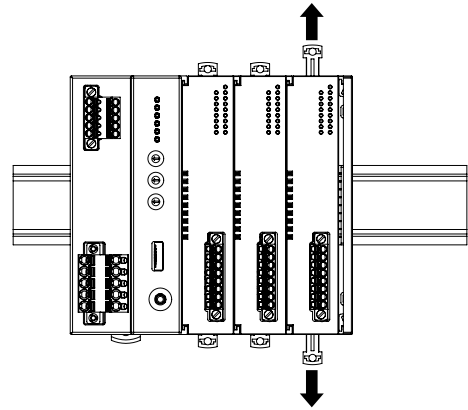


- ・取外す場合は、カバー側フックを内側に押しながら引抜きます。

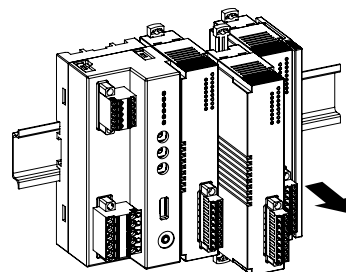
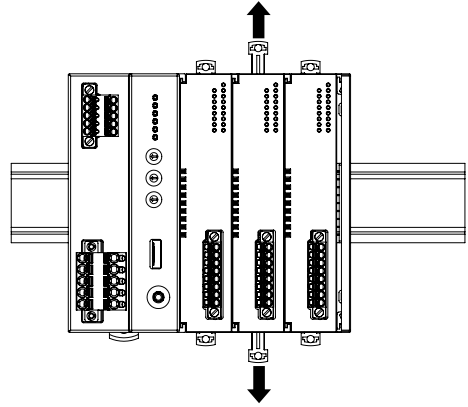


■取外方法

- ・取外したい入出力カードのスライダを外側へずらし、ロックを外した状態で手前にまっすぐ引抜きます。



- ・中間の入出力カードを取外す場合

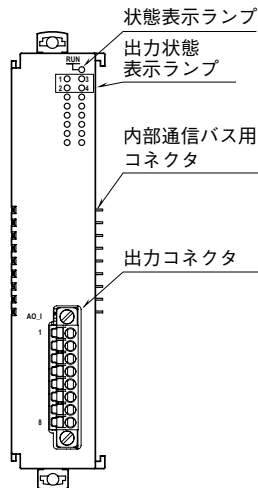


注1) 内部通信バス用コネクタは先端がとがっているの、怪我をしないように注意して下さい。

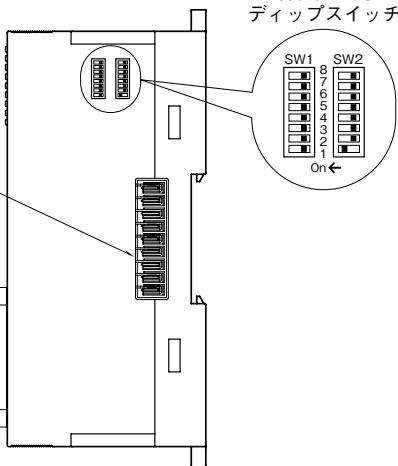
注2) 入出力カードのみの設置時は、入出力カードが横に動きやすい状態になります。落下等の恐れがある場合、エンドプレートを設置するようにして下さい。

各部の名称

■前面図



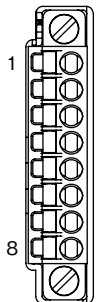
■側面図



■表示ランプ

名称	ランプ動作	機器動作
状態表示ランプ	消灯	停止中
	緑色点灯	上位との通信が有効
	緑色点滅	コンフィギュレーション中
	赤色点灯	設定エラー
	赤色点滅	パラメータエラー
出力状態表示ランプ	消灯	出力データ範囲内
	赤色点滅	出力データ範囲外

■出力コネクタ端子配列



ピン番号	信号名	機能
1	Out1	出力 1 (+)
2		出力 1 (-)
3	Out2	出力 2 (+)
4		出力 2 (-)
5	Out3	出力 3 (+)
6		出力 3 (-)
7	Out4	出力 4 (+)
8		出力 4 (-)

■動作モード設定

(*) は工場出荷時の設定

●カードアドレス設定

カードアドレスは10の桁をSW1-1、2、3、4で、1の桁をSW1-5、6、7、8で設定します。カードアドレスは0～30まで使用可能です。(工場出荷時は0)

カードアドレス	SW1				
	×10	1	2	3	4
	×1	5	6	7	8
0		OFF	OFF	OFF	OFF
1		OFF	OFF	OFF	ON
2		OFF	OFF	ON	OFF
3		OFF	OFF	ON	ON
4		OFF	ON	OFF	OFF
5		OFF	ON	OFF	ON
6		OFF	ON	ON	OFF
7		OFF	ON	ON	ON
8		ON	OFF	OFF	OFF
9		ON	OFF	OFF	ON

●レンジ設定

出力一括のレンジ設定になります。

出力ごとのレンジ設定は、PCにて行って下さい。

出力レンジ	SW2
	1
0～20mA DC	OFF
4～20mA DC (*)	ON

●通信断時出力設定

出力一括の設定になります。

通信断時出力	SW2
	5
出力保持 (*) (前回正常受信データを保持)	OFF
出力クリア	ON

注) 出力クリアの場合、コンフィギュレーションモードがディップスイッチのとき、出力を-5%に固定。ただし、0mA以上。PCのとき、通信断時スケーリング値に固定。

●終端抵抗設定

終端抵抗	SW2
	6
無効 (*)	OFF
有効	ON

●コンフィギュレーションモード設定

コンフィギュレーションモード	SW2
	8
ディップスイッチ (*)	OFF
PC	ON

注) SW2-2、3、4、7は未使用。未使用のディップスイッチは必ず“OFF”にして下さい。

■コンフィギュレータ設定

コンフィギュレータを用いることにより、下記の設定が可能です。

- 出力ごとの設定 (出力レンジ、スケーリング、ゼロ・ゲイン微調整、起動時スケーリング値、通信断時スケーリング値)

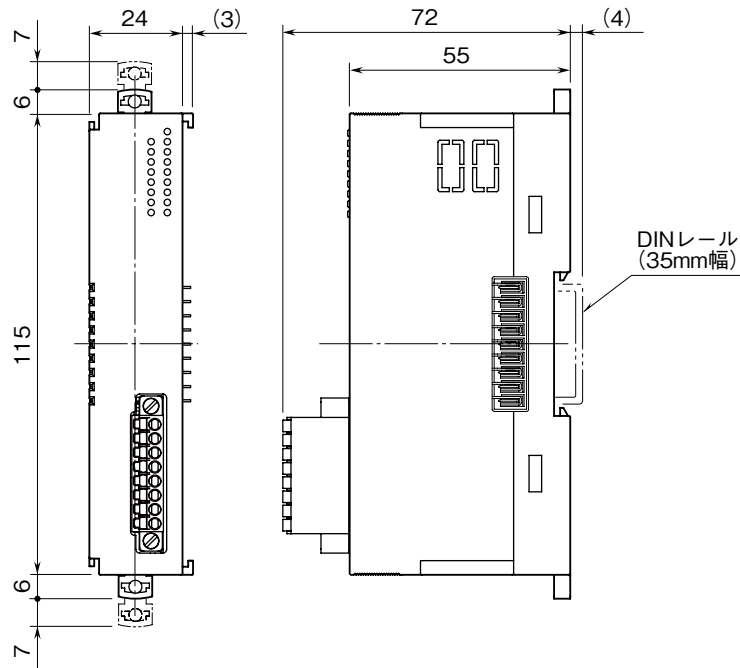
- 共通設定 (内部通信バス通信断検出時間、通信断時出力)

注) 出力レンジ、通信断時出力をコンフィギュレータで設定するためには、SW2-8をONに設定して下さい。コンフィギュレータ設定は、電源通信ユニットにより行います。コンフィギュレータソフトウェア (形式: R8CFG) の使用方法については、R8CFGの取扱説明書をご参照下さい。

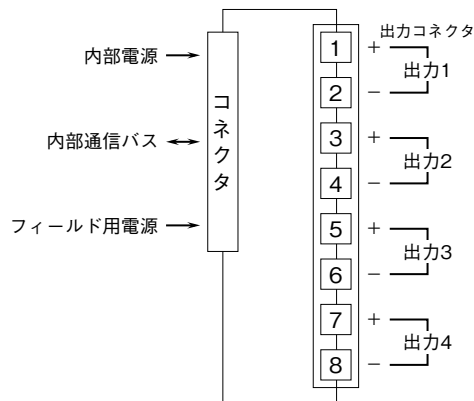
接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位: mm)



端子接続図



配 線

■コネクタ形スプリング式端子台

本体側コネクタ: MC 1,5 / 8 - GF - 3,5

(フエニックス・コンタクト製)

ケーブル側コネクタ: FMC 1,5 / 8 - STF - 3,5

(フエニックス・コンタクト製)

適用電線: 0.2 ~ 1.5 mm²

剥離長: 10 mm

推奨圧着端子:

- ・ AI0,25 - 10YE 0.25 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ AI0,34 - 10TQ 0.34 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ AI0,5 - 10WH 0.5 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ AI0,75 - 10GY 0.75 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ A1 - 10 1.0 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ A1,5 - 10 1.5 mm² (フエニックス・コンタクト製)

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。